

NJ 素流協 News

平成23年3月31日
第75号

平成23年3月31日発行・発行所 ノースジャパン素材流通協同組合 〒020-0024 盛岡市菜園1丁目3-6 (農林会館9階)
TEL 019(652)7227 / FAX 019(654)8533 / <http://www.soryukyo.or.jp/index.html>

東日本大震災 発生時を振り返る

去る三月十一日(金) 十四時四

六分マグニチュード九・〇という巨大地震が発生し、それに起因する今までに経験したことのない巨大津波が東北地方東海岸に押し寄せました。

【被害状況】

これによって多くの人命が奪われ、未曾有の被害を被りました。

当NJ素流協においても、組合員及び関係者の多くの方々が被害を受けました。

心から亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被害を受けられた方々に対しましてお見舞い申し上げます。

心より、一日も早い復興をお祈りいたします。

【組合員の安否確認】

震災発生日以降、停電や電話不通に加えて、翌日、翌々日が土日の休日であったことから、組合員の本格的安否確認は、十四日(月)

からとなりました。

組合員一〇一名中五四名の無事は十四日中に確認されましたが、残り四七名とはなかなか連絡が取れない状態でした。

少ない情報の中から、大口出荷工場であるホクヨープライウッド(宮古市)の従業員は交代勤務で自宅に居た者を除き全員無事、関連会社北星(宮古市)では行方不明者一名居る模様、北日本プライウッド(大船渡市)では小野繁社長が行方不明らしい、組合員の運転手が荷降ろし中に波にさらわれて行方不明のようだ、また、工場の施設では、ホクヨープライウッドの建物は残っているが、一階部分が浸水した模様、北日本プライウッドの工場被害は不明との情報が断片的に寄せられました。

また、組合員からは、「個別的に依頼されて工場土場からの流失丸太の収集を行っているが大変な作

業である。林業団体として実施できないか。」「復旧作業を手伝いたいが、燃料がないので何とかならないか」。などの声も寄せられました。

その後、携帯電話での通話回復や「現場で会ったよ、無事でした」等の間接情報等により、徐々に情報が入ってききましたが、その中で被害を受けたとの情報も入ってくるなどして、被害の内容も少しずつ明らかになってきました。

被災から二六日後の四月六日(水)になって、ようやく組合員全員の無事が確認されました。

【被害復旧支援】

当初、電話不通や燃料不足の中で、組合員に個別にお願いして宮古地域で工場から流失した丸太の収集整理(協力的支援)を行う一方で、組合員に対して、散在丸太の収集協力アンケート調査を行いました。

以降は、アンケート結果によって協力的支援をお願いし、宮古地域での散在丸太の収集は、三月二

表 丸太等収集処理協力組合員 (4月26日まで)

作業地区		作業実施組合員
自主的支援	宮古地区	二戸林業、大畑林業、青森国生協(梁田木材)、三栄興業、仲山林業、丸富運輸、小林三之助商店、谷地林業
	大船渡地区	伊藤木材、江刺屋林業、小笠原林業、佐々木林業土木、佐藤造林、佐藤木材、佐藤喜悦、三栄興業、高橋木材、仲山林業、平山林業、ふる里木材、松田林業、丸鷲木材、丸昭木材、明和フォレストック、山一木材
大船渡市 より要請	大船渡地区	岩手県国有林材生産協同組合連合会(昭林、遠野地区国生協)、岩手県森林組合連合会(東磐井森組)、岩手県森林整備協同組合(小松班、村上班、藤原班、山一木材)、クイック、興和林業、佐藤木材、佐藤喜悦、三栄興業、平山林業、松田林業、丸昭木材

十六日(土)一応終了となりました。
また、大船渡地域においては、立入規制等の関係から収集作業を開始したのが三月二十三日(水)からとなりました。
組合員の安全と疲労等から、協力的支援は三月三十一日(木)をもって一応終了と致しました。

一方、岩手県森林林業会議へ働きかけて、林業関係団体での瓦礫処理協力可能者名簿を作成して三月二十五日に県へ報告しました。
この名簿を基に、大船渡市より市街地に散在している丸太等の収集処理の支援要請があり、四月三日(日)より支援出勤を開始しました。この支援は木材用グラブ、グラブ付トラック、チェンソーマン二名の班体制二班で五日間のサイクルで行ってきております。
震災直後から現在までに丸太等の収集処理の支援をいただいた組合員は表のとおりです。
なおN J素流協以外に丸太収集処理支援に協力した林業団体としては、岩手県グリーンマイスター連絡協議会が、同様に所属事業体を募って作業を行っております。
また作業以外にも、山中林業、青森国生協・倉岡素材造林、青森県森林整備事業協同組合、上北森林組合からは燃料等物資による支援がありました。

〔事務的処理の経過〕

丸太を出荷してきた、ホクヨード等、北日本プライウッド等の事務所等が流失したことから、三月中の震災時までの出荷量の取りまとめが必要となりました。組合員から三月八日(十一)日までの送り状控えの写しを送付してもらって、取りまとめを行いました。

また、N J素流協では理事長、常務理事ほかホクヨードプライウッド、北日本プライウッドへ各二回ほど訪問してお見舞や打合せ等を行っております。

被害に遭われた組合員の皆様と出荷先である合板工場等の一日も早い復興を願っております。

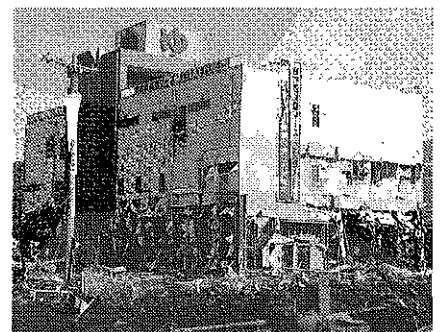
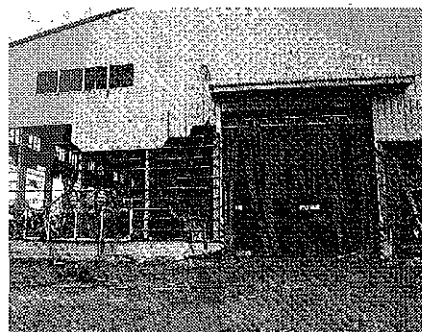
第八回通常総会
開催のお知らせ

日時 平成二十三年五月三十日(月)
午後一時三十分より

場所 盛岡市 岩手県自治会館
詳細については後日ご案内を送付いたします。

被害地の状況

(写真：岩手林業新報社)



一葉

大震災にもなう樹木・丸太

取り扱いの留意点

この度の東日本大震災では、合板や集成材などの木材加工工場や造材現場にも大きな影響を与えた。

また、震災後の山火事によって森林の中でも樹木が傷んでいる。今後これらの取り扱いについて留意すべき事項について述べる。

1 貯木場の丸太

工場や山土場に積まれたままになっている丸太、津波に流されて回収された丸太は、工場の操業開始までの長い期間そのままの状態でおかれることになる。

- ① スギ・アカマツ・カラマツ、広葉樹・他

樹種を問わず、夏場にオオゾウムシが寄生し、材内部に直径1cm程度の孔が空けられる（本誌六九号参照）。この虫は、地面に近い部分に寄生する性質があり、山土場でも工場の貯木場でも地面に接している丸太は確実に被害を受ける。対策としては、椴積の底を三十

五十cmの高さにすれば被害はかなり軽減される。

② アカマツ

夏から秋に、松くい虫被害の媒介昆虫であるマツノマダラカミキリが寄生し、マツくい虫被害の発生源となる危険がある。この被害については、寄生したマツノマダラカミキリが羽化して丸太から飛び出すのは来年夏であり、それ前に処理する必要がある。

また、春から夏に青変被害により材質が劣化する（本誌第七九号参照）。
共に薬剤散布などの予防対策が必要である。

2 山火事被害木

震災に伴って発生した山火事によって、枯死木が発生するが、当初枯死を免れた木でも、その後枯れることが予想される。

① アカマツ

山火事に遭ったアカマツは、針

葉が燃え尽きるか褐色に変わって枯死するが、生き残ったものがその後「マツつちくらげ病」で枯死する事例が多い（本誌第七三号参照）。この被害による枯れは、焼け跡の周辺部で、翌年から数年間にわたる場合がある。

冬から夏の枯死木にはマツノマダラカミキリが寄生し、マツくい虫被害の発生源になる。

山火事跡地にアカマツを再造林する場合には「つちくらげ」の発生が無いことを確認する必要がある。復旧造林したマツが集団で枯死した事例がある。

② スギ

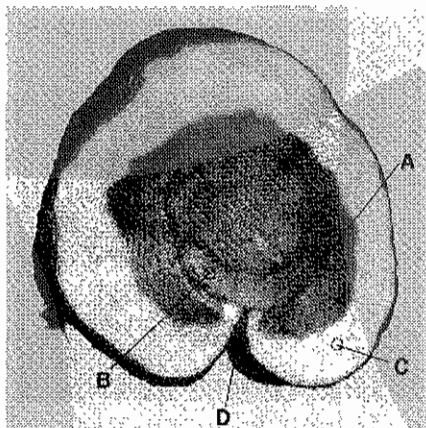
山火事跡のスギは、枝葉が完全に燃えたものは枯死するが、半分程度の針葉が残っていれば枯死することなく生き続けるものが多い。

しかし、樹皮が高温でこげたスギは、火傷による変色や傷を巻き込みながら生長を続ける。このような木は、外見上は健全に見えても伐採するのが得策である。

山火事で枯れた、あるいは樹皮

がこげたスギの材は、強度的には健全木と変わりはない。また、早期に伐採して製材乾燥すれば、ほとんど変色もない。ただし、一カ月は、半年後まで放置した被害木の材の色は次第に異常になる。

以上の丸太や被害木への対策には多額の経費が必要なうえに、効果は限定的である。対策の基本は、共通して「早期の利活用」である。



28年前に山火事被害を受けたスギ

- A；被害当時の形成層部
- B；被害により変質・変色した部分
- C；被害後に成長した部分
- D；巻き込みが不十分で入り皮になった部分

作業道散策

12

ウソ (鶯)

桜の時期になると、何処かでウソに食われて花がさっぱりだという声が聞こえてくる。各地のサクラの名所では防止対策に苦慮しているが、決め手となる方法は無い。

ウソという野鳥は全長約一六cmで、スズメより一回り大きい。短く太い嘴と首の鮮やかな朱色が特徴である。夏に標高の高い亜高山帯で繁殖し、冬から早春に集団で飛来してサクラの芽を採食するので、その可愛らしい姿にもかかわらず害鳥扱いされることが多い。亜種のアカウソも、観察される



写真1 桜の芽を啄むウソ



写真2 ウソの被害で花が寂しい桜

ことがある。この亜種は腹部全体が赤い。お客さんには、「アカウソは真っ赤なウソで、首だけ赤いのが本当のウソです」と教える。

ウソの漢字は「鶯」で、学の旧漢字「學」とよく似ており、学問の神様菅原道真を祭った「天神さん」の使いとされている。大宰府天満宮、亀戸天神社、大阪天満宮などでは、正月に参加者が「木うそ」をお互いに交換し、昨年の凶をウソにして今年の吉に変えるという「鶯替え神事」が行われる。また、岡山県の美咲町には「うそとり大明神」が祭られている。

絵馬堂には「試験に合格をしませんように」、「〇〇さんと結婚できませんように」などの願い事を書いた絵馬が沢山掛けられ、毎年四月一日(エイプリルフール)に行

われる「うそとり大明神大祭」の時、花咲爺さんの衣装をまとった「嘘」の神主さんが、絵馬に書いた願い事が嘘になるようお払いをしてくれるそうである。

冗談欄 今回は冗談ではなく……

昭和三十七年生まれ的女性俳人、文化庁の文化交流使としてフランスでも活躍した嵐まどか氏が、自身のホームページで俳句でエール〜東日本大震災に寄せて」と題し、読者から募集した応援俳句を公開している。その中から氏の選による句を、作者のコメントとともにご紹介したい。

復興の明日を疑わないみんなの思いを桜前線に託します。確実に来ます、復興の日が。復興を願ひ願ひて書き踏む

今村征一

■応援俳句 入選五句■

みちのくの風に踏ん張る鯉鱈

この句は友人が被災地を励ます垂れ幕を作りたいので一句を寄せて欲しいとの要望があり心を込めて作句した一句です。募金しか出来ない自分ですがこの一句によって被災地の方の励ましになればと思っています。

たんぼぼの固まつて道照らしをり

鷺見治子

被災地の困難や風評に負けずに頑張つて欲しい気持ちを鯉のぼりに託しました。きつと春は巡り青空を仰ぐ日は来るでしょう。

炊き出しの声かけあつて水温む

松下美奈子

俳句が縁で知り合った岩手県葛巻町の職員の皆さんが、陸前高田市へ炊き出しに出向き、一三〇〇人分のひつつみ汁を作られたことを知りました。温かな一碗が、被災地の皆さんの心を春に導いてくれる…そう思った瞬間、気持ちがあふつと和らぎました。

陸奥へ桜前線たしかなり

いちばん

計り知れない辛く苛酷な日々を過ごされていることと思います。充分頑張つていらつしやることは痛いほどわかります。それでも今は、あと少しどうか頑張つて下さいと心から願わずにはいられません。

拾いたる命愛しき外は雪

森村誠一

平成23年3月分の販売実績

- 1 合板用出荷量を前月と比較すると、スギが約7,580m³減少、カラマツが約2,700m³減少、アカマツが約1,810m³減少し、全体では約12,100m³減少している。昨年同月と比較すると、スギが約1,450m³減少、カラマツが約4,670m³減少、アカマツは約40m³減少し、全体では約6,170m³減少している。工場別ではホクヨープライウッドが前月比較で約10,460m³減少、昨年同月比較では約4,820m³減少、北日本プライウッドは前月比較では2,810m³減少、昨年同月比較では約3,340m³減少となっている。なお、これら合板用出荷量のうちシステム販売取扱量は前月より約940m³減少している。
- 2 その他（合板用以外）の出荷量は前月より約990m³減少、昨年同月より約1,390m³減少した。
- 3 今年度の年間計画量に対する12か月あたりの出荷量の割合（目標達成率）を100%とすると、今月の合板用出荷及び全体出荷実績は、計画数量を7.1~11.3ポイント上回る進捗状況となり、いずれも目標を達成した。

(m³)

樹種	長級 (m)	販売先				計	今年度累計			
		合板用			その他		計	合板用	その他	計
		ホクヨー プライ ウッド(株)	北日本 プライ ウッド(株)	その他						
スギ	2.0	1,886	1,539	1,095	4,520	8,630	77,540	50.6	17,848	141,639
	4.0	960	1,376	440	2,776		46,251			
	計	2,845	2,915	1,535	7,296		(186,507)			
カラマツ	2.0	1,024	631	693	2,348	3,670	62,822	38.0	2,365	95,319
	4.0	657	473	78	1,208		30,133			
	計	1,680	1,104	771	3,556		(0)			
アカマツ	2.0	998	226	88	1,312	1,818	23,135	11.2	1,390	28,715
	4.0	187	96		282		4,190			
	計	1,185	321	88	1,594		(0)			
その他針						28	62	0.0	265	326
広葉樹						51	637	0.3	1,002	1,640
合計										
目標達成率(%)							111.3		76.2	107.1
計画量							220,000		30,000	250,000
バイオマス用針葉樹チップ材 (単位: トン)										169,310

長級2.0には2.1を含む、() はシステム販売取扱量(内数)

落穂拾い

平成二十三年三月十一日、この日は、日本国民にとって末永く記憶に残る特別な日になるであろう。

東日本大震災で亡くなられた方々に対し深甚なる哀悼の意を表するとともに、甚大なる被害を受けた被災者の皆様に心からお見舞いを申し上げます。

このたびの東日本大震災は、私たち日本国民が未だ経験したことが無かつたような総合的な災害である。今回の大震災は、マグニチュード九・〇という大地震、これに伴う大津波という人間の想像を超える破壊力によってもたらされた自然災害であり、岩手県、宮城県、福島県をはじめ青森県、茨城県、千葉県などの太平洋沿岸の市や町や村に住む人々、住居・公共建築物・工場等に壊滅的な被害を与えたが、これに加えて福島第一原子力発電所の原発事故による放射能汚染の被害が出ているがその被害の程度が未だ予測できない状況にある。このことが先に「総合的な災害」と述べた所以である。

このたびの大震災について、李登輝（元台湾総統）氏は「震災処理と再建復興への一私見」として次のように述べている。

諸外国からこのたびの震災のなかで日本人のマナーは世界一だ、また困難のなか社会の秩序がよく保たれた日本文化の持つ品格と価値が、国民の落ち着きや我慢強さで表現されていることを強く賞賛している。

しかしながら、悪い条件のなかに立派な国民がいても、中央政府や地方自治体で災害処理の方針がはっきり決められない現状では国民が可哀想である。（震災後の処理について）第一段階は人命救助さらに遺体の処理であり一

週間程度で終了すること、第二段階は生存者のための種々の措置を取ること、第三段階が再建、復興策を迅速に行うことである。

被災者の心のケアも重要な課題である。この心のケアに関しては、その方面の専門の方々が被災地に赴き、被災者が悲惨な記憶から抜け出して、新たな人生を切り開く手助けをする必要がある。また、救済の一環として被災者に仕事を斡旋することは、彼らの心のケアにも役立つので、政府や地方自治体はこれを立案し実行を急ぐべきである。テレビで見ていると、菅総理はヘリコプターに乗って被災地を空から眺めている場面があったが、これでは、この災害を解決し復興にもつてゆく強い態度が見られない。

今回の災害で廃墟と化した多くの地域を再建することは、新たな町づくりと変わらない。再建はわれわれが傷痕から抜け出し、再生するための契機となる。次の世代のために、永続的に発展する安全で平和な新しい日本が創造できることを心より願っている、と締めくくっている。

李登輝氏は、総統時代に自国台湾を隣国の中国から強い圧力を受けながらも自立・独立を現実のものとするために奮闘した卓越した指導者であるが、このたびのわが国を襲った東日本大震災直後に、上記のような励ましと復興についての思いを送ってきたのである。突然の大災害を蒙った悪条件のなかで、被災者をはじめ大半の全国の国民は社会秩序を保ち日本文化の持つ品格と価値に基づいた落ち着きや我慢強さをもって困難に立ち向かっている姿を世界の人々から賞賛されているのは事実である。だが、わが国政府に対する災害対応についてのお褒めの声はまだ聞いている。